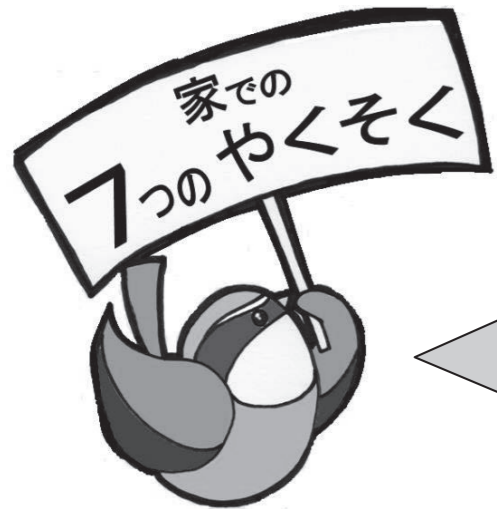
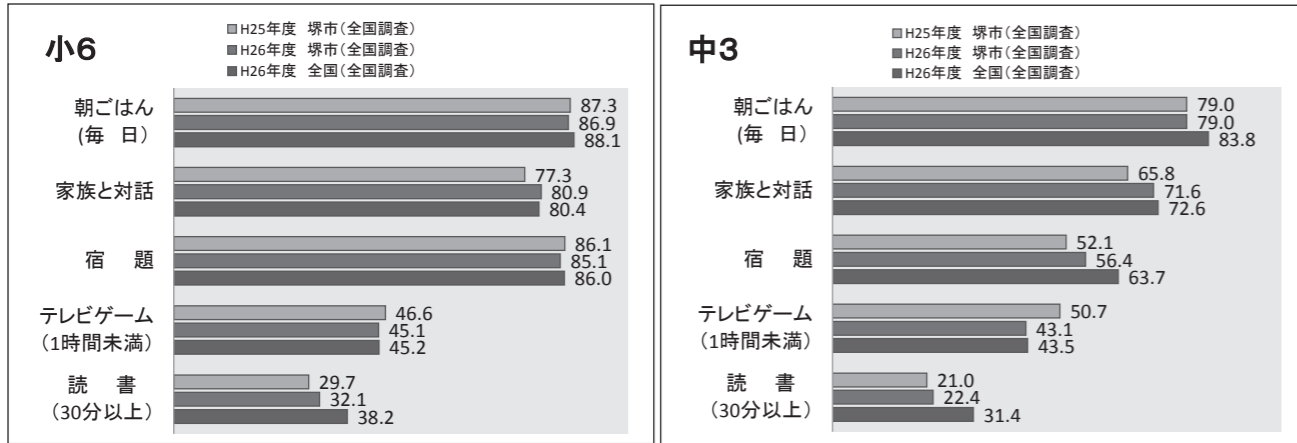


一日のよりよい過ごし方を考えよう



- 1 早寝早起きの習慣をつけよう。
- 2 朝ごはんを毎日食べよう。
- 3 家族との対話を大切にしよう。
- 4 学校に持って行くものを前日に確かめよう。
- 5 宿題など自分から進んで勉強しよう。
- 6 テレビやゲームの時間を決めよう。
- 7 本を読む時間をつくろう。

家での7つのやくそくに関する調査結果について



※早寝、前日準備に関する項目は、今回の質問項目には含まれていません。

小中学校ともに、家で30分以上読書をしている児童生徒の割合が増加しており、朝の読書活動や読書ノートなどによる読書活動の充実に向けた取組の成果が表れています。

また、小学校で朝ごはん、宿題、ゲーム、中学校で朝ごはん、ゲームにおいて、なお課題があります。NOテレビ・NOゲームデーを設定するなど、学校と家庭が連携を一層深め、子どもの生活改善につなげていく必要があります。

保護者のみなさんへ

- 決まった時間に寝るように声をかけましょう。
- 子どもに朝食をとる習慣が身につくようご協力ください。
- 学校のできごとなど、子どもの話をしっかり聞いてください。
- 明日の予定などを話題にし、見通しをもって生活するよう促しましょう。
- 自分からすすんで勉強できる環境づくりをしましょう。
- ゲームやテレビ、スマートフォンの時間を決めましょう。
- 家族で読書を楽しむ工夫をしましょう。

ご協力
お願いします



どうして
「7つのやくそく」
が必要なの？

正しい習慣を身につけ、自分の行動を自分で律する力をつけることが、学力向上につながります。
毎月7日の「7つのやくそくデー」を生活を見直すきっかけにしてください。

保護者・地域のみなさまへ

平成26年度全国学力・学習状況調査 堺市結果

きっちり生活・しっかり勉強

平成26年度全国学力・学習状況調査（平成26年4月実施）について、堺市の子どもたちの学力等の状況をお知らせします。

確かな学力の向上のためには、よりよい学習習慣・生活習慣を身につけることが重要です。質問紙調査では、「自分には良いところがある」などの自尊心をはじめ、学ぶ喜びやわかる楽しさを実感している児童生徒が増える傾向にあります。今後もすべての教員が子ども理解を深め、子どもに寄り添う気持ちを大切に集団づくりを基盤とし、学力向上にむけた取組を推進します。

教育委員会では、「自ら学ぶ」「自分で決める」「自分を高める」3つの習慣づくりにむけて家庭で大切にしていきたいことを本リーフレットにまとめました。

ご家庭においては、本リーフレットを参考に「きっちり生活 しっかり勉強」する子どもの育成にご協力をお願いします。

各教科の平均正答率(%)

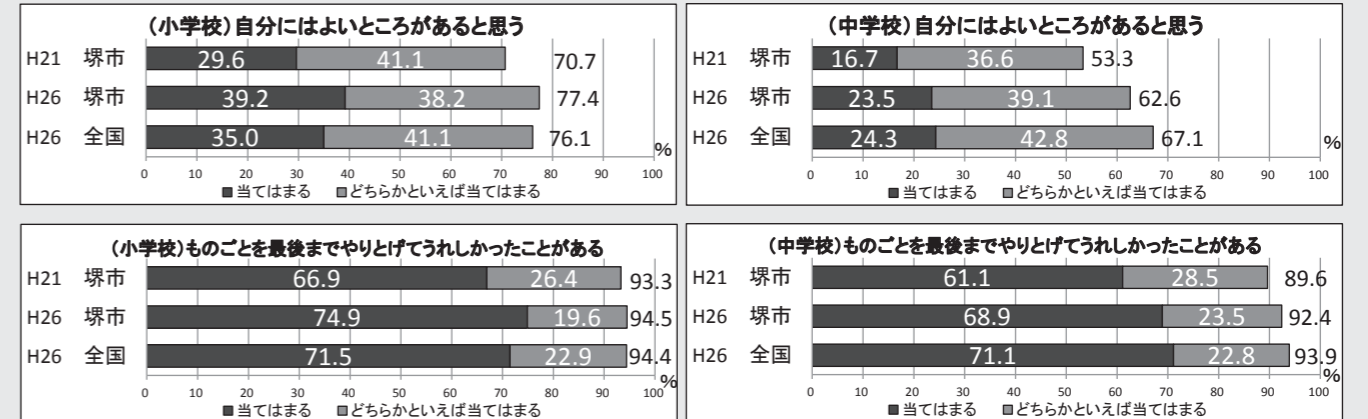
	教科 区分	小学校(6年)		中学校(3年)					
		国語	算数	国語	数学	A(知識)	B(活用)		
H26	堺市	70.5	54.4	77.8	55.6	75.9	46.2	64.2	55.6
	全国	72.9	55.5	78.1	58.2	79.4	51.0	67.4	59.8
H25	堺市	62.1	47.9	77.4	57.2	72.1	61.8	60.6	37.6
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4	76.4	67.4	63.7	41.5
H19	堺市	78.9	56.0	79.0	59.3	77.8	64.0	68.1	52.9
	全国	81.7	62.0	82.1	63.6	81.6	72.0	71.9	60.6

平成19年度(初回調査)と比べると全体的には改善傾向にあり、小学校は算数A(知識)と国語B(活用)で全国平均と同程度です。中学校も全体的に国との差が縮まっています。

しかしながら昨年度と比べると、小学校では4区分のうち3区分、中学校では4区分のうち2区分で、全国との差が広がっています。一部の教科や学年にとどまらず、学校全体で基礎基本の定着を図る反復学習や思考力・判断力・表現力の育成に向けた授業改善に取り組みます。

保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

「自分にはよいところがある」「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」と回答した児童生徒の状況



編集・発行 堺市教育委員会事務局 学校教育部

TEL 072-228-7436 FAX 072-228-7421

URL <http://sed.sakai.ed.jp/>

堺市行政資料番号 1-K2-14-0230

堺市教育委員会

学校でも家庭でも大切にしたい

3つのこと

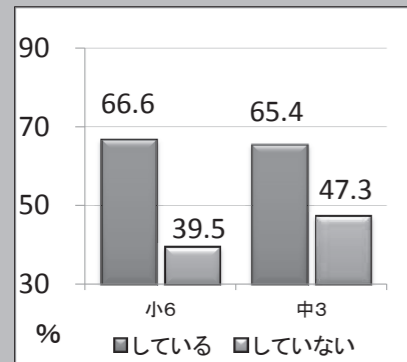
- ①自ら学ぶ子ども
- ②自分で決める子ども
- ③自分を高める子ども

“自ら学ぶ”

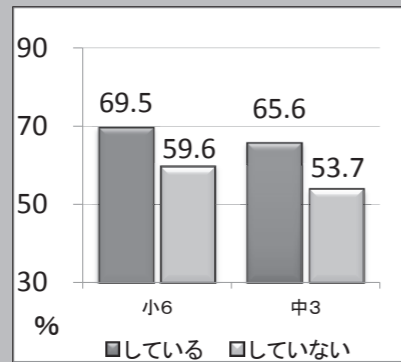
学校で
家庭で

学習習慣が身につくよう支え続ける

家庭学習（宿題、復習）と学力には、深い関係があります。



宿題を毎日している子と
していない子の平均正答率



授業の復習をしている子と
していない子の平均正答率

学習できる環境づくり

習慣づくりは、学習意欲の向上につながります。一日の生活の中で、「学校から帰ってきてすぐに」「夕食の前に」など、確実に取り組める時間を確保しましょう。

また、机やテーブルなどいつも同じ場所で、学習に集中して取り組める環境を整えましょう。

学校の宿題を確実に

家庭学習の基本は学校の宿題です。ご家庭でも毎日の宿題に当たり前のこととして、進んで取り組むことができるよう、働きかけ続けることが大切です。

また、子どもたちがテスト等の間違い直しや反復学習に日常的に取り組むことで、基礎基本が確実に定着します。

予習・授業の復習に取り組む

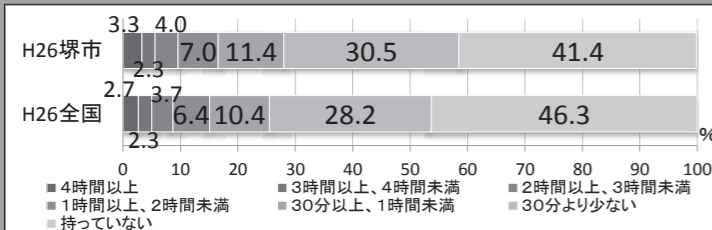
学校では、復習しやすいよう授業内容をわかりやすくまとめるノートづくりに取り組んでいます。

子どもたちが家庭で授業ノートをもとにその日の授業で学習したことをおさらいし、さらに、予習したり、調べてみたいことなどに取り組んだりすることで、学習意欲が高まり、学力が向上します。

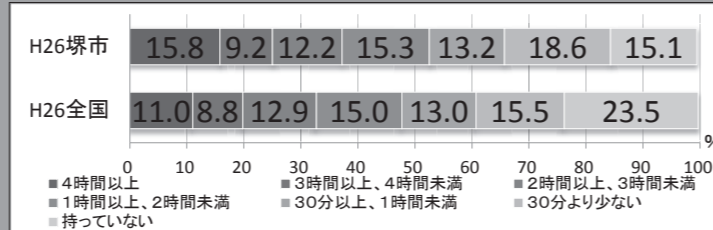
“自分で決める” 計画を立て、見通しをもつ

スマートフォン等の使用やゲームをする時間が増えています。

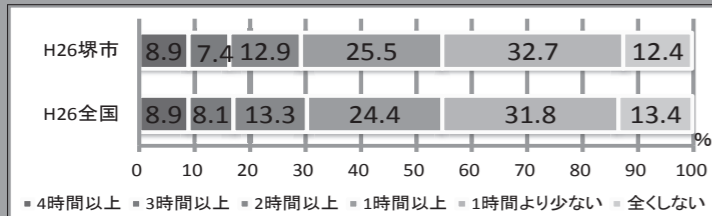
1日あたりのスマートフォンや携帯電話の使用時間(小学校)



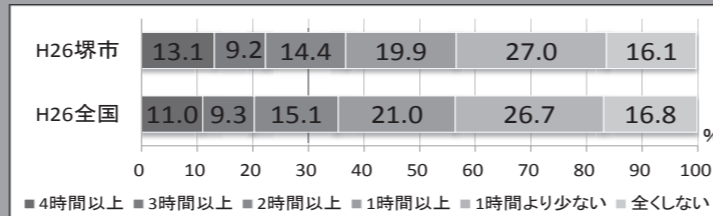
1日あたりのスマートフォンや携帯電話の使用時間(中学校)



1日あたりのゲーム時間(小学校)



1日あたりのゲーム時間(中学校)



スマートフォン等の長時間使用に伴い、生活リズムが崩れるなどの影響が懸念されます。家族で会話をしたり、本を読んだりする時間を大切にいただき、携帯電話やスマートフォンの使用を含めて、家での過ごし方についてお子さんと話し合ってみてください。子ども自身が自分で決めて、計画を立てて、見通しをもてるようにすることが大切です。

“自分を高める” 語り合い、認め励ます

西陶器小学校 現6年生
和田 彩佳さん
(5年時の作品)



いつか…

お母さんがね いつも言うんだ
「強くて優しい人になりなさい」って
でも「強くて優しい人」ってどんな人？
力の強い人？ケンカの強い人？
そしたらお母さんがおしえてくれた
「自分の弱さで人をきずつけない人」って

わたしもいつかなれるかな？
強くて優しい人に
いつかなりたいな
強くて優しい大人に

H26年度「はとぶえ」5月号掲載

「家での7つのやくそく」にもある「家族との対話」は、小中ともに年々良好な結果となってきています。

左の「はとぶえ」作品のように家庭での対話や子どもへの励ましは大きな力になります。

各家庭で、お子さんとの対話を大切にしましょう。また、がんばりを認め、物事を達成した時には、しっかりほめましょう。